

令和5年度第1回 八尾市立歴史民俗資料館運営委員会（概要）

開催日時：令和5年7月7日（金）午前10：30～11：30

開催場所：八尾市立高安コミュニティセンター2階 会議室

【出席者】

参加委員：学識経験者4名（欠席1名）・市民代表2名・その他関係者1名：計7名

森田克行委員長・植村和代副委員・亀甲知之委員・角倉泰子委員

川村美由紀委員・黒田一充委員・浅見 緑委員

欠席委員：藤井弘章委員

指定管理者：公益財団法人八尾市文化財調査研究会（小谷館長・樋口係長）：計2名

事務局：南観光・文化財課長、西澤観光文化財課長補佐、藤井文化財係長：計3名

【議事録】

1. 令和4年度の事業報告の説明

事務局から、令和4年度の事業報告を行った。詳細については、館報をもとに指定管理者の施設担当者より補足説明を行った。内容にかかわる部分についての主な意見及び質問は以下のとおり。

【事業関係】

- ・資料館では、多彩な事業に取り組んでおり、評価できる。八尾市ならではの、河内木綿、物部氏、由義寺跡など、効果的に事業に反映できている。
- ・新型コロナの影響はどうか。
⇒来館者の人数は、令和2年度4311名、令和3年度6658名、そして令和4年度は8087名と徐々に回復している。コロナ前の1万人台にはまだ回復していない。講演会などは、事前申し込みで人数を絞って実施しており、その影響もあると思う。
- ・鉄道の特展は好評であったと聞いているが、今後も開催を検討してほしい。
⇒鉄道への関心が高いことがよく理解でき、特展の開催を機に、来館者から新たな資料の提供もあった。
- ・史跡由義寺跡のシンポジウムのような企画も引き続きお願いしたい。
- ・河内木綿を継承していくうえで、子供の時期に、綿を一から育てる実体験は重要なので、事業を続けてほしい。

【その他報告】

- ・現指定管理者である令和5年度末の（公財）八尾市文化財調査研究会の解散と、次期の指定管理者募集の準備を進めていることを報告。
- ・史跡由義寺跡について、発掘調査の現地説明会の実施、史跡整備の取り組みを報告。

以上